

大好きです。 ふるさと飛驒高山

平成17年2月に1市9町村が合併し「新高山市」が誕生して今年で5年目を迎えます。

今号では、いろいろな分野でご活躍されている市民のみなさんから、新しい年への抱負やふるさと高山市に寄せる思いなどをお寄せいただきました。

循環型農業も これからの夢



おおした まさき
大下 正紀さん(丹生川町森部)

家族3人で飛驒牛の肥育・繁殖をしています。昨年は厳しい年でしたが、今年は丑年。心機一転で頑張りたいと思っています。循環型農業への取組みもこれからの夢。地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」が推進してくれればいいですね。

来てよかった また来たい観光地に



よしま えつこ
与嶋 悦子さん(上切町)

我が家は4世代同居の9人家族。義母の代から朝市に自家製の漬物を出しています。高山も最近は外国人観光客が多くなり、国際色豊かになりましたが、訪れたみなさんに「来てよかった、また来たい」と思っていたら嬉しいですね。

もっと地元を知って 高山を自慢して



もりした ゆうこ
森下 悠子さん(岩井町)

飛驒民俗村のスタッフとして勤務しています。地元のことを知らない市民の方が意外と多いんです。もっと地域を知ること、高山を自慢していただけたら素晴らしいことです。今年が社会人6年目。新しい自分を発見したいと思っています。

世界中から観光客 高山はすごいぞ



しまだ なおや
島田 直弥さん(山田町)

小学校の代表委員長をしています。また、スポ少野球ではキャッチャーで頑張ってきました。来年からは中学生。部活と勉強を両立させていきたいです。世界中から観光客が訪れるのが高山のすごさ。いつまでも自慢できる高山であってほしいです。

三重の友だちとの スキー交流も楽しみ



ちば ゆきほ
千葉 由貴穂さん(久々野町無数河)

舟山太鼓保存会で週1回練習しています。いっぱい練習して大人と一緒に打てるようになりたいです。私は久々野の自然が大好き! スキー場が近くにあるところも好きです。この冬は、三重県五ヶ所小との交流会でのスキーも楽しみにしています。

自然や文化を 子どもたちに伝えたい



たにぐち けんじ
谷口 馨憲さん(一之宮町)

グリーンツーリズムや農業体験を通して、交流の輪を広げる活動をしています。豊かな自然と源流の里、今も残る地域の絆が好きです。自然や文化を将来を担う子どもたちに伝え、いつまでも「心のふるさと飛驒高山」であってほしいと願っています。

いいところは残しつつ 新しい風受け入れて



たかだ ゆかりさん(荘川町猿丸)

絵本の読み聞かせなどのサークルで楽しく活動しています。昔ながらの良いところは残しつつ新しい良い風は受け入れて、住みよい高山であってほしいですね。四季折々の姿をみせる荘川の自然が私の自慢。そばの花もきれいですよ。

次代のためにも 安定経営目指したい



つじ なおし
辻 直司さん(清見町牧ヶ洞)

長男は北海道で研修中、次男も畜産関係の大学に入学と、子どもとも畜産に興味を持ってくれてありがたく思っています。昨年は穀物価格の高騰などで畜産農家はダメージを受けました。今年は、次代のためにも安定経営を目指したいと思います。

奥飛驒シャモを 特産品にしたい



あらい えいじ
荒井 英治さん(奥飛驒温泉郷一重ヶ根)

地鶏の奥飛驒シャモがようやくお客様に自信を持って提供できるようになりました。ぜひ新しい特産品にしていきたいと思っています。魅力ある観光地づくりに努めて、ぜひとも奥飛驒温泉郷にぎわいと活力を取り戻したいですね。

世界に誇れる 高山になってほしい



はぎわら けんじ
萩原 健司さん(国府町八日町)

今年の目標は、まずは志望校合格。そして陸上部に入り、走り幅跳びで念願の東海大会に出場したいです。合併して高山は日本一広くなりました。地域それぞれの文化をしっかり受け継ぎ、新しいことも取り入れて世界に誇れるまちになってほしいなあ。

不便だからこそ 感じる高根の魅力



さいとう さちよ
齊藤 佐知代さん(高根町上ヶ洞)

名古屋市から夫婦で1ターンして4年あまり、現在、介助員として働いています。高根の好きなのは、なんといっても空気が綺麗なこと。人口減少が心配ですが、人が少なくても仲良く、団結して楽しく住み続けられるまちになってほしいです。

全中スキー目指し 頑張っています



かとう みずき
加藤 泉季さん(朝日町黒川)

2月に高山市で開催される全国中学校スキー大会を目指して頑張っています。また、今年を受験生なので、志望校合格も大きな目標です。空気が澄んで星空がきれいな高山市が好き。温かくてやさしいまちであってほしいです。